

移行措置用XML電文 の利用にあたっての留意事項

平成24年6月

気象庁地震火山部

移行措置用XML電文の利用にあたっては、情報内容には新形式電文と差異があることに留意する必要がある。具体的な差異は以下の通り。

番号	条件	移行措置用電文	新形式電文
①	大津波警報の新規発表または切り替えの場合	Code=52 (Name="大津波警報：発表")	Code=53 (Name="大津波警報：発表")
②	予想される津波の高さを定性的表現で発表する場合	MaxHeightなし (表現されない)	jmx_eb:TsunamiHeight/@description="巨大"、"高い"、""
③	予想される津波の高さに重要な変更がある場合	Conditionなし (表現されない)	Condition="重要"
④	新たに定義する固定付加文を使用する場合	Codeなし (Textには記載)	Code、Textとも記載
⑤	これまでの最大波の高さに重要な更新がある場合	Conditionなし (表現されない)	Condition="重要"
⑥	水位が上昇中の場合	jmx_eb:TsunamiHeight/@conditionなし (表現されない)	jmx_eb:TsunamiHeight/@condition="上昇中"
⑦	沖合の津波観測に関する情報において、高い津波を観測した沖合の観測点がある場合	Headline/Informationなし (表現されない)	Headline/Informationに高い津波を観測した沖合の観測点名とコードを記載
⑧	沖合の津波観測に関する情報における「津波予報区」(Area)の内容	Name="GPS波浪計" (Code=990)	Name、Codeとも空
⑨	沖合の津波観測に関する情報における特殊観測機器名の記載	Sensorなし (表現されない)	Sensorに"GPS波浪計"、"水圧計"等を記載
⑩	沖合の津波観測に関する情報における推定到達時刻の記載	ArrivalTimeFromとArrivalTimeToの両方に同じ時刻を記載	ArrivalTimeに記載
⑪	沖合の津波観測に関する情報におけるこれまでの最大波の推定到達時刻の記載	DateTimeなし (表現されない)	DateTimeに記載
⑫	沖合の津波観測に関する情報におけるこれまでの最大波の推定高さに重要な更新がある場合	Conditionなし (表現されない)	Condition="重要"
⑬	沖合の津波観測に関する情報におけるこれまでの最大波の推定高さが基準に達していない場合	Conditionなし (表現されない)	Condition="推定中"

番号	条件	移行措置用電文	新形式電文
⑭	沖合の津波観測に関する情報におけるこれまでの最大波の推定高さを定性的表現で発表する場合	jmx_eb:TsunamiHeightなし（表現されない）	jmx_eb:TsunamiHeight/@description="巨大"、“高い”、“”
⑮	沖合の津波観測に関する情報の「現在の津波警報・注意報の発表状況」(Forecast要素)	あり	なし

また、移行措置用電文と新形式電文に差異はないものの、現行形式と運用・解釈に差異があることに留意する必要がある。具体的な差異は以下の通り。

番号	条件	現行電文	移行措置用電文・新形式電文
⑯	第1波の到達予想時刻までに時間的な猶予がない場合	ArrivalTimeに代わってCondition="直ちに津波来襲と予測"を記載	ArrivalTimeとCondition="ただちに津波来襲と予測"を併記
⑰	予想される津波の高さの値が「10」の場合	jmx_eb:TsunamiHeight/@description="10m以上"	jmx_eb:TsunamiHeight/@description="10m"、“10m超”
⑱	第1波の高さ	必ずjmx_eb:TsunamiHeightまたはCondition("微弱"または"第1波識別不能")が出現	jmx_eb:TsunamiHeightは使用しない(Conditionは"第1波識別不能"の時のみ出現)
⑲	最大波の高さ	必ずjmx_eb:TsunamiHeightまたはCondition("微弱"または"今後最大波到達")が出現	必ずjmx_eb:TsunamiHeightまたはCondition("微弱"または"観測中")が出現
⑳	沖合の津波観測に関する情報における沿岸地域	GPS波浪計に対応した地域	津波予報区と同じ地域
㉑	マグニチュード(M)が8を超える巨大地震と推定される場合	想定されている最大規模のMを発表	jmx_eb:Magnitude/@description="M8を超える巨大地震"
㉒	震度速報における付加文(Comment要素)	なし	使用する場合がある

次ページから具体的な電文例により説明する。説明中の番号は上の表の番号に対応する。なお、現行電文から変更(運用・解釈の変更を含む)となる部分は赤字で、移行措置用電文と新電文で異なる部分は青字で表示する。

1. 津波警報・注意報・予報(1)

<移行措置用XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<Item>
<Area><Name>岩手県</Name><Code>210</Code></Area>
<Category>
<Kind><Name>大津波警報：発表</Name><Code>52</Code></Kind>
<LastKind><Name>津波なし</Name><Code>00</Code></LastKind>
</Category>
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:50:00+09:00</ArrivalTime>
<Condition>ただちに津波来襲と予測</Condition>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<jmx_ob:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" condition="不明" description="巨大">NaN</jmx_ob:TsunamiHeight>
</MaxHeight>
</Item>
```

①“大津波警報：発表”のとき、Codeは52(大津波警報)とする。

⑩到達予想時刻まで猶予がない場合、ArrivalTimeとConditionを併記する。

②予想される津波の高さが定性的表現となる場合はMaxHeightなしとする。

<新XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<Item>
<Area><Name>岩手県</Name><Code>210</Code></Area>
<Category>
<Kind><Name>大津波警報：発表</Name><Code>53</Code></Kind>
<LastKind><Name>津波なし</Name><Code>00</Code></LastKind>
</Category>
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:50:00+09:00</ArrivalTime>
<Condition>ただちに津波来襲と予測</Condition>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<jmx_ob:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" condition="不明" description="巨大">NaN</jmx_ob:TsunamiHeight>
</MaxHeight>
</Item>
```

- ① 津波警報等の種類が大津波警報の新規発表または切り替えを表す“大津波警報：発表”のとき、Codeは53(大津波警報：発表)の代わりに52(大津波警報)を使用する。
- ② 予想される津波の高さを“巨大”等の定性的表現で発表する場合、MaxHeightなしとする。なお、MaxHeightは津波の減衰に伴う切り替えや解除を行った場合にも出現しないので、MaxHeightの有無だけで高さが定性的表現かどうかを判断することは避けること。
- ⑩ 第1波の到達予想時刻までに時間的な猶予がない場合、ArrivalTimeに加えてConditionが出現し“ただちに津波来襲と予測”を記載する(現行電文ではArrivalTimeは記載していない)。

1. 津波警報・注意報・予報(2)

<移行措置用XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<MaxHeight>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" description="10m超"
">10</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>更新</Revise>
</MaxHeight>
```

③「重要」を記載するConditionは使用しない。

①「予想される津波の高さの値が「10」の場合、descriptionは「10m」または「10m超」となる。

```
<jmx_eb:Magnitude type="Mj" condition="不明" description="M8を超える巨大地震"
">NaN</jmx_eb:Magnitude>
```

②「M8を超える巨大地震」のとき、descriptionに「M8を超える巨大地震」と記載する。

<新XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<MaxHeight>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" description="10m超"
">10</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>更新</Revise>
</MaxHeight>
```

③ 予想される津波の高さの重要な更新を表す「重要」を記載するConditionは使用しない。

① 予想される津波の高さを表すjmx_eb:TsunamiHeightの値が「10」の場合、description属性は「10m」、「10m超」の2階級のどちらかとなる（現行電文では「10m以上」の1階級のみ）。

② 「M8を超える巨大地震」のとき、jmx_eb:Magnitudeのdescription属性に「M8を超える巨大地震」と記載し、値をNaNとする（現行電文では値がNaNとなるのはdescription属性が「M不明」となる場合のみ）。

1. 津波警報・注意報・予報(3)

<移行措置用XML電文>

<WarningComment codeType="固定付加文">

<Text><大津波警報>

大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波警報>

津波による被害が発生します。
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波注意報>

海の中や海岸付近は危険です。
海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。
潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。

<津波予報(若干の海面変動)>

若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません。

警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所によっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる場合があります。

到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかる場合がありますので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる可能性があります。

</Text>

<Code>~~0121 0122 0123 0124 0131 0132~~</Code>

</WarningComment>

④新たに定義する付加文コードは使用しない。

<新XML電文>

<WarningComment codeType="固定付加文">

<Text><大津波警報>

大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波警報>

津波による被害が発生します。
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波注意報>

海の中や海岸付近は危険です。
海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。
潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。

<津波予報(若干の海面変動)>

若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません。

警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所によっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる場合があります。

到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかる場合がありますので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる可能性があります。

</Text>

<Code>0121 0122 0123 0124 0131 0132</Code>

</WarningComment>

④ 新たに定義する固定付加文コード(0121~0124、0131、0132、0141~0149)は使用しない(結果としてCodeが空要素になる場合もある)。ただしTextには新たに定義された固定付加文を記載する。

2. 津波情報(1)

<移行措置用XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<Item>
<Area><Name>岩手県</Name><Code>210</Code></Area>
<Category>
<Kind><Name>大津波警報：発表</Name><Code>52</Code></Kind>
<LastKind><Name>津波なし</Name><Code>00</Code></LastKind>
</Category>
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:50:00+09:00</ArrivalTime>
<Condition>ただちに津波来襲と予測</Condition>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<jmx_ob:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" condition="不明" description="巨大">NaN</jmx_ob:TsunamiHeight>
</MaxHeight>
</Item>
```

①“大津波警報：発表”のとき、Codeは52(大津波警報)とする。

⑩到達予想時刻まで猶予がない場合、ArrivalTimeとConditionを併記する。

②予想される津波の高さが定性的表現となる場合はMaxHeightなしとする。

<新XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<Item>
<Area><Name>岩手県</Name><Code>210</Code></Area>
<Category>
<Kind><Name>大津波警報：発表</Name><Code>53</Code></Kind>
<LastKind><Name>津波なし</Name><Code>00</Code></LastKind>
</Category>
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:50:00+09:00</ArrivalTime>
<Condition>ただちに津波来襲と予測</Condition>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<jmx_ob:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" condition="不明" description="巨大">NaN</jmx_ob:TsunamiHeight>
</MaxHeight>
</Item>
```

- ① 津波警報等の種類が大津波警報の新規発表または切り替えを表す“大津波警報：発表”のとき、Codeは53(大津波警報：発表)の代わりに52(大津波警報)を使用する。
- ② 予想される津波の高さを“巨大”等の定性的表現で発表する場合、MaxHeightなしとする。なお、MaxHeightは津波の減衰に伴う切り替えや解除を行った場合にも出現しないので、MaxHeightの有無だけで高さが定性的表現かどうかを判断することは避けること。
- ⑩ 第1波の到達予想時刻までに時間的な猶予がない場合、ArrivalTimeに加えてConditionが出現し“ただちに津波来襲と予測”を記載する(現行電文ではArrivalTimeは記載していない)。

2. 津波情報(2)

<移行措置用XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<MaxHeight>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" description="10m超"
">10</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>更新</Revise>
</MaxHeight>
```

③ "重要"を記載するConditionは使用しない。

①7 予想される津波の高さの値が「10」の場合、descriptionは「10m」または「10m超」となる。

```
<Observation>
. . . . .
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:46:00+09:00</ArrivalTime>
<Initial>引き</Initial>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="第1波の高さ" unit="m" description="0.2m"
">0.2</jmx_eb:TsunamiHeight>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<Condition>観測中</Condition>
</MaxHeight>
```

①8 第1波の高さは記載しない。

①9 最大波の高さが基準未満の場合、Conditionに"観測中"と記載する。

<新XML電文>

```
<Forecast>
. . . . .
<MaxHeight>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" description="10m超"
">10</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>更新</Revise>
</MaxHeight>
```

```
<Observation>
. . . . .
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:46:00+09:00</ArrivalTime>
<Initial>引き</Initial>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="第1波の高さ" unit="m" description="0.2m"
">0.2</jmx_eb:TsunamiHeight>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<Condition>観測中</Condition>
</MaxHeight>
```

③ 予想される津波の高さの重要な更新を表す"重要"を記載するConditionは使用しない。

①7 予想される津波の高さを表すjmx_eb:TsunamiHeightの値が「10」の場合、description属性は「10m」、「10m超」の2階級のどちらかとなる（現行電文では「10m以上」の1階級のみ）。

①8 第1波の高さを表すjmx_eb:TsunamiHeightは記載しない（第1波の高さは発表しない）。

①9 最大波の高さが基準未満の場合、jmx_eb:TsunamiHeightに代わってConditionが出現し、「観測中」と記載する。

2. 津波情報(3)

<移行措置用XML電文>

```
<Observation>
. . . . .
<MaxHeight>
<DateTime>2011-03-11T14:56:00+09:00</DateTime>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="これまでの最大波の高さ" unit="m" condition="上昇中"
description="3.2 m">3.2</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>追加</Revise>
</MaxHeight>
```

⑤「重要」を記載する
Conditionは使用しない。

⑥「上昇中」を記載する
condition属性は使用しない。

```
<jmx_eb:Magnitude type="Mj" condition="不明" description="M8を超える巨大地震"
">NaN</jmx_eb:Magnitude>
```

⑦「M8を超える巨大地震」のとき、descriptionに
「M8を超える巨大地震」と記載する。

```
<WarningComment codeType="固定付加文">
<Text>津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測
ことがあります。
```

場所によっては、観測した津波の高さよりさらに大きな津波が到達しているおそれがあります。

今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。</Text>

```
<Code>01140111 0112</Code>
</WarningComment>
```

④新たに定義する付加
文コードは使用しない。

<新XML電文>

```
<Observation>
. . . . .
<MaxHeight>
<DateTime>2011-03-11T14:56:00+09:00</DateTime>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="これまでの最大波の高さ" unit="m" condition="上昇中"
description="3.2 m">3.2</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>追加</Revise>
</MaxHeight>
```

```
<jmx_eb:Magnitude type="Mj" condition="不明" description="M8を超える巨大地震"
">NaN</jmx_eb:Magnitude>
```

```
<WarningComment codeType="固定付加文">
<Text>津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上かかる
ことがあります。
```

場所によっては、観測した津波の高さよりさらに大きな津波が到達しているおそれがあります。

今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。</Text>

```
<Code>0114 0111 0112</Code>
</WarningComment>
```

④ 新たに定義する固定付加文コード(0114)は使用しない(結果としてCodeが空要素になる場合もある)。ただしTextには新たに定義された固定付加文を記載する。

⑤ これまでの最大波の高さの重要な更新を表す「重要」を記載するConditionは使用しない。

⑥ 水位が上昇中であることを表す「上昇中」を記載するjmx_eb:TsunamiHeightのcondition属性は使用しない。

⑦ 「M8を超える巨大地震」のとき、jmx_eb:Magnitudeのdescription属性に「M8を超える巨大地震」と記載し、値をNaNとする(現行電文では値がNaNとなるのはdescription属性が「M不明」となる場合のみ)。

3. 沖合の津波観測に関する情報(1)

<移行措置用XML電文>

```
<Headline>
<Text>高い津波を沖合で観測しました。</Text>
<Information type="沖合の津波観測に関する情報">
<Item>
<Kind><Name>沖合の津波観測に関する情報</Name></Kind>
<Area codeType="潮位観測点">
<Area><Name>岩手沖90km</Name><Code>01600</Code></Area>
</Area>
</Item>
</Information>
</Headline>
```

⑦高い津波を観測した沖合の観測点を記載するHeadline/Informationは使用しない。

<新XML電文>

```
<Headline>
<Text>高い津波を沖合で観測しました。</Text>
<Information type="沖合の津波観測に関する情報">
<Item>
<Kind><Name>沖合の津波観測に関する情報</Name></Kind>
<Area codeType="潮位観測点">
<Area><Name>岩手沖90km</Name><Code>01609</Code></Area>
</Area>
</Item>
</Information>
</Headline>
```

⑧現行の「津波情報」に合わせて「GPS波浪計」(Code:990)を記載する。

```
<Observation>
. . . . .
<Item>
<Area><Name>GPS波浪計</Name><Code>990</Code></Area>
<Station><Name>岩手釜石沖</Name><Code>21090</Code>
<Sensor><Name>GPS波浪計</Sensor>
```

```
<Observation>
. . . . .
<Item>
<Area><Name>GPS波浪計</Name><Code>990</Code></Area>
<Station><Name>岩手釜石沖</Name><Code>21090</Code>
<Sensor>GPS波浪計</Sensor>
```

⑨特殊観測機器名を記載するSensorは使用しない。

⑦ 高い津波を観測した沖合の観測点を記載するHeadline/Informationは使用しない。

⑧ 現行の「津波情報」では、沿岸の津波観測点との区別のために「津波予報区」(Area)に「GPS波浪計」(Code:990)を記載しているため、移行措置用電文においても形式的に記載する(新設の「沖合の津波観測に関する情報」には記載しない)。

⑨ 特殊観測機器名(「GPS波浪計」、「水圧計」等)を記載するSensorは使用しない。

3. 沖合の津波観測に関する情報(2)

<移行措置用XML電文>

```
<Observation>
. . . . .
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:46:00+09:00</ArrivalTime>
<Initial>引き</Initial>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="第1波の高さ" unit="m" description="0.2m"
">0.2</jmx_eb:TsunamiHeight>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<Condition>観測中</Condition>
</MaxHeight>
```

⑱ 第1波の高さは記載しない。

⑲ 最大波の高さが基準未満の場合、Conditionに"観測中"と記載する。

<新XML電文>

```
<Observation>
. . . . .
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:46:00+09:00</ArrivalTime>
<Initial>引き</Initial>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="第1波の高さ" unit="m" description="0.2m"
">0.2</jmx_eb:TsunamiHeight>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<Condition>観測中</Condition>
</MaxHeight>
```

```
<Observation>
. . . . .
<MaxHeight>
<DateTime>2011-03-11T14:52:00+09:00</DateTime>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="これまでの最大波の高さ" unit="m" condition="上昇中"
description="0.5m">0.5</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>更新</Revise>
</MaxHeight>
```

⑤ "重要"を記載するConditionは使用しない。

⑥ "上昇中"を記載するcondition属性は使用しない。

```
<Observation>
. . . . .
<MaxHeight>
<DateTime>2011-03-11T14:52:00+09:00</DateTime>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="これまでの最大波の高さ" unit="m" condition="上昇中"
description="0.5m">0.5</jmx_eb:TsunamiHeight>
<Revise>更新</Revise>
</MaxHeight>
```

⑤ これまでの最大波の高さの重要な更新を表す"重要"を記載するConditionは使用しない。

⑥ 水位が上昇中であることを表す"上昇中"を記載するjmx_eb:TsunamiHeightのcondition属性は使用しない。

⑱ 第1波の高さを表すjmx_eb:TsunamiHeightは記載しない(第1波の高さは発表しない)。

⑲ 最大波の高さが基準未満の場合、jmx_eb:TsunamiHeightに代わってConditionが出現し、"観測中"と記載する。

3. 沖合の津波観測に関する情報(3)

<移行措置用XML電文>

```
<Estimation>
<CodeDefine>
<Type xpath="Item/Area/Code">沿岸地域</Type>
</CodeDefine>
<Item>
<Area><Name>岩手県</Name><Code>210</Code></Area>
<FirstHeight>
<ArrivalTimeFrom>2011-03-11T14:55:00+09:00</ArrivalTimeFrom>
<ArrivalTimeTo>2011-03-11T14:55:00+09:00</ArrivalTimeTo>
<Condition>早いところでは既に津波到達と推定</Condition>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<DateTime>2011-03-11T15:15:02+09:00</DateTime>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" condition="不明"
description="巨大">NaN</jmx_eb:TsunamiHeight>
</MaxHeight>
</Item>
</Estimation>
```

⑳ 沿岸地域を津波予報区と同じ地域に変更。

⑩ ArrivalTimeFromとArrivalTimeToに同じ時刻を記載する。

⑪ MaxHeightの子要素DateTimeは使用しない。

⑫ MaxHeightの子要素Condition(重要)は使用しない。

⑭ 推定される津波の高さが定性的表現となる場合はjmx_eb:TsunamiHeightなしとする。

<新XML電文>

```
<Estimation>
<CodeDefine>
<Type xpath="Item/Area/Code">沿岸地域</Type>
</CodeDefine>
<Item>
<Area><Name>岩手県</Name><Code>210</Code></Area>
<FirstHeight>
<ArrivalTime>2011-03-11T14:55:00+09:00</ArrivalTime>
<Condition>早いところでは既に津波到達と推定</Condition>
</FirstHeight>
<MaxHeight>
<DateTime>2011-03-11T15:15:02+09:00</DateTime>
<Condition>重要</Condition>
<jmx_eb:TsunamiHeight type="津波の高さ" unit="m" condition="不明"
description="巨大">NaN</jmx_eb:TsunamiHeight>
</MaxHeight>
</Item>
</Estimation>
```

- ⑩ 津波の推定値(Estimation)において、現行の「津波情報」フォーマットではArrivalTimeFromとArrivalTimeToを用いて推定到達時刻に幅を持たせた表現としているため、移行措置用電文ではArrivalTimeは使用せず、ArrivalTimeFromとArrivalTimeToの両方に同じ時刻を記載する。
- ⑪ 津波の推定値(Estimation)において、MaxHeightの子要素DateTime(これまでの最大波の推定到達時刻)は使用しない。
- ⑫ 津波の推定値(Estimation)において、MaxHeightの子要素Condition(“重要”を記載する)は使用しない。
- ⑭ 津波の推定値(Estimation)において、推定される津波の高さを“巨大”等の定性的表現で発表する場合、MaxHeightの子要素jmx_eb:TsunamiHeightなしとする(結果としてMaxHeightが空要素になる場合もある)。
- ⑳ 津波の推定値(Estimation)において、沿岸地域を現行電文のGPS波浪計に対応した地域から、津波予報区と同じ地域に変更する(Codeも津波予報区で使用している番号と同じ)。

3. 沖合の津波観測に関する情報(4)

<移行措置用XML電文>

```
<Estimation>
. . . . .
<MaxHeight>
<Condition>推定中</Condition>
</MaxHeight>
```

⑬MaxHeightの子要素Condition(推定中)は使用しない。

```
<Forecast>
. . . . .
</Forecast>
```

⑮Forecast要素を記載する。

⑲「M8を超える巨大地震」のとき、descriptionに「M8を超える巨大地震」と記載する。

```
<jmx_eb:Magnitude type="Mj" condition="不明" description="M8を超える巨大地震">NaN</jmx_eb:Magnitude>
```

```
<WarningComment codeType="固定付加文">
<Text>沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。</Text>
<Code>0115</Code>
</WarningComment>
```

④新たに定義する付加文コードは使用しない。

<新XML電文>

```
<Estimation>
. . . . .
<MaxHeight>
<Condition>推定中</Condition>
</MaxHeight>
```

```
<Forecast>
. . . . .
</Forecast>
```

```
<jmx_eb:Magnitude type="Mj" condition="不明" description="M8を超える巨大地震">NaN</jmx_eb:Magnitude>
```

```
<WarningComment codeType="固定付加文">
<Text>沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。</Text>
<Code>0115</Code>
</WarningComment>
```

- ④ 新たに定義する固定付加文コード(0115)は使用しない(結果としてCodeが空要素になる場合もある)。ただしTextには新たに定義された固定付加文を記載する。
- ⑬ 津波の推定値(Estimation)において、MaxHeightの子要素Condition("推定中"を記載する)は使用しない(結果としてMaxHeightが空要素になる場合もある)。
- ⑮ 移行措置用電文は現行の「津波情報」のフォーマットにより配信するため、「津波情報」に記載している「津波警報・注意報の発表状況」(過去最新の津波警報・注意報の内容)を表すForecast要素を記載する(新設の「沖合の津波観測に関する情報」には記載しない)。
- ⑲ 「M8を超える巨大地震」のとき、jmx_eb:Magnitudeのdescription属性に「M8を超える巨大地震」と記載し、値をNaNとする(現行電文では値がNaNとなるのはdescription属性が「M不明」となる場合のみ)。

(参考)地震情報等の新XML電文

■ 震度速報

※移行措置用XML電文なし

<新XML電文>

```
<Comments>  
<ForecastComment codeType="固定付加文">  
<Text>今後の情報に注意してください。</Text>  
<Code>0217</Code>  
</ForecastComment>  
</Comments>
```

②震度速報で付加文を使用する場合があります。

② 津波への警戒の呼び掛け等のため、震度速報で付加文を使用する場合があります(現行電文では使用していない)。

■ 震源に関する情報、震源・震度に関する情報

※移行措置用XML電文なし

<新XML電文>

```
<jmx_eb:Magnitude type="Mj" condition="不明" description="M 8 を超える巨大地震">  
>NaN</jmx_eb:Magnitude>
```

①「M8を超える巨大地震」のとき、descriptionに「M8を超える巨大地震」と記載する。

① 「M8を超える巨大地震」のとき、jmx_eb:Magnitudeのdescription属性に「M 8 を超える巨大地震」と記載し、値をNaNとする(現行電文では値がNaNとなるのはdescription属性が「M不明」となる場合のみ)。